

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	児童遊園施設整備事業				担当部	都市建設部			
	会計区分	一般会計				担当課	みどり公園課			
	事業期間	平成26年度以前		～	平成30年度まで		担当係	公園整備係		
	基本施策・展開方向	6 都市基盤		27 公園・緑地・緑道		3 公園・緑地・緑道の整備を推進します。				
	予算区分	款	8	項	4	目	5	大	3	中
	根拠法令・個別計画	児童福祉法、小牧市緑の基本計画、都市公園における遊具の安全確保に関する指針								
	目的	何・誰を対象に	児童遊園利用者を対象に							
		どの様な状態にするのか	経年劣化の進む児童遊園を安心して遊ぶことのできる場所とするため							
	内容(手段) 目的達成のため どのような事業 を実施したか	<p>児童遊園施設整備事業は、経年劣化の進む児童遊園を、安心して遊ぶことのできる場所とするため、平成26年6月(平成20年8月)に改正「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」に基づき再整備を行う事業である。なお、再整備にあたり、前年度に実施する実施設計において、再整備の内容や整備後の維持管理や安全対策について、民生・児童委員及び区長と協議を行い、地域と密接した児童遊園の再整備を進めている。</p> <p>○平成28年度実施内容 【委託業務内容】 児童遊園改修実施設計業務委託(委託料:13,392,000円) 寺浦、善能寺第2、本庄台第3、晴美台、巾前、大池、本庄苑 計7箇所 【工事内容】 児童遊園改修工事(工事請負費:100,256,600円) 計13箇所 [平成28年度] 児童遊園改修工事(工事請負費:79,857,360円) ふじさん、みどり台南、エンゼル東、旦那畑、畔地南、久保山西、上西浦、本庄台第2、本庄台第4 計9箇所 [平成27年度繰越し] 児童遊園改修工事(工事請負費:20,399,240円) 東原、小松寺団地西、神明狭、郷浦 計4箇所 【アンケート調査】 無償借地の18児童遊園について、平成29年1月に児童遊園の管理を委託している民生・児童委員に対し今後の児童遊園のあり方について、アンケート調査を行った。 [存続] 藤島、多気、下小針、小牧原、小木下、林、岩崎、二重堀、本庄、かわちや、御屋敷、東田中、横内、あおぞら、舟津巾上 計15箇所 [廃園] ミッ淵 計1箇所 [計画公園完成後の廃園] 久保一色、入鹿 2箇所</p> <p>○平成29年度実施内容 【委託業務内容】 児童遊園改修実施設計業務委託(委託料:9,500,000円) 中南、居屋敷、野口、藤島(無償借地:道路拡幅) 計4箇所 【工事内容】 児童遊園改修工事(工事請負費:80,000,000円) 寺浦、善能寺第2、本庄台第3、晴美台、巾前、大池、本庄苑 計7箇所</p>								
	受益者負担	無								

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額	
コスト	費用	直接経費	千円	115,790	94,943	113,649	89,500
		正職員	従事者数	人	0.51	0.39	0.42
	人件費		千円	2,870	2,194	2,363	3,207
	その他職員	従事者数	人				
		人件費	千円				
	費用合計		千円	118,660	97,137	116,012	92,707
対前年比		%		81.8	119.4	79.9	
財源	一般財源	千円	118,660	97,137	116,012	92,707	
	国・県支出金	千円					
	その他財源	千円					

業 績	活動指標名		単位	H26	H27	H28	H29
	再整備箇所	箇所	目標	10	11	9	7
			実績	10+1(開発)=11	7	13	
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H26	H27	H28	H29
	再整備率	%	目標	29.3	43.9	55.6	65.0
			実績	30.5(開発1)	39.5(廃園1)	56.3(廃園1)	
	累積再整備箇所	箇所	目標	24	36	45	52
			実績	25	32	45	
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	現在、本市が管理する全80児童遊園の内、再整備を進めているのは小牧市が土地を所有している62児童遊園である。なお、当事業は平成23年度から着手し、平成28年度末までに45箇所を完了しており、残り17箇所は、平成32年度までに完了する予定である。なお、一部の工事については、債務負担行為を設定することで早期発注を行い、工事費の縮減を図っている。						
	事業実施における課題		無償借地の18児童遊園について、平成29年1月に児童遊園の管理を委託している民生・児童委員に対し今後の児童遊園のあり方について、アンケート調査を行った結果、存続の回答を15箇所得た。よって、道路拡幅に伴う藤島児童遊園(存続、平成30年度再整備)を含めた15箇所については、再整備が必要と考えている。残りは小牧市所有と併せ32箇所である。						
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	平成29年度は平成30年度の再整備に伴う実施設計を4箇所、再整備工事を7箇所実施している。なお、工事については、債務負担行為の設定などで早期発注を行い、工事費の縮減を図っている。						
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの					
	削減額・削減対象	事務事業評価による額	8,940	千円	予算区分	13	節	15	節
	判定理由・削減内容	平成29年度まで年7～10箇所程度の再整備を行っていたが、一定の成果が出ているため、年5箇所程度(7カ年)に縮小しても一定の成果を見込めることから、8,940千円削減する。							
	30年度以降の実施内容	平成30年度一実施設計(4箇所)、工事(再整備4箇所、撤去1箇所)、平成31年度一実施設計(5箇所)、工事(再整備4箇所)、平成32年度一実施設計(4箇所)、工事(再整備5箇所)、平成33年度一実施設計(3箇所)、工事(再整備4箇所)、平成34年度一実施設計(4箇所)、工事(再整備3箇所)、平成35年度一実施設計(2箇所)工事(再整備3箇所、撤去1箇所)、平成36年度一工事(再整備2箇所)、平成38年度一実施設計(1箇所)、平成39年度一工事(撤去1箇所)							

二次評価	方向性の判定		判定理由						
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするともに、引き続き効果的・効率的な事業実施に努められたい。							